

水防災意識社会の再構築に 向けた取組方針をフォローアップ

H29. 5. 31

福知山河川国道事務所

～ 目標達成に向けた由良川の取組方針の実施状況確認 ～

平成27年9月の関東・東北豪雨を受けて、今後も起こりうる由良川の氾濫による大規模な浸水被害に備え、国、府、市等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした「由良川減災対策協議会」の第3回協議会を開催しました。

第3回協議会では、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく由良川の取組方針についてフォローアップを行いました。目標達成に向けて今後も継続的なフォローアップを進めます。

概要

対象河川：由良川水系由良川、土師川

- 日時：平成29年5月31日（水） 13：30～14：30
- 場所：福知山市消防防災センター 2階 研修室
- 協議会委員：福知山市長、舞鶴市長、綾部市長、宮津市長、
京都府建設交通部長、気象庁京都地方気象台長、
福知山河川国道事務所長



【協議会での主な発言内容】

- ・地域版防災ハザードマップ、いわゆるマイマップの作成支援事業は、参加者から「住民の防災意識が高まった。」など好評をいただいている。(福知山市)
- ・想定最大規模の浸水想定を反映したハザードマップの更新や防災訓練などにより、地域住民に浸水リスクをしっかり説明し、防災意識の向上を図る取り組みを進めていきたい。(舞鶴市)
- ・洪水の規模に応じて1次避難から2次避難へと避難体制を移行するよう地域防災計画を見直したので出前講座などを通じて住民に周知していきたい。(綾部市)
- ・浸水範囲や避難の方法・タイミングなど、住民との情報共有が図れていなかったことがあるため、市で作成する想定最大規模の浸水想定を反映したハザードマップに基づく避難マニュアルを住民と共に作成し共有する体制づくりを手掛けていきたい。(宮津市)
- ・雨量、水位等のデータをリアルタイムに配信しているが、住民の皆さんに十分活用してもらえているのか危惧しており、地域の防災意識を高めていく活動にも取り組んでいきたい。(京都府)
- ・防災気象情報の改善に取り組んでおり、一目で警報・注意報の期間等がわかる情報の提供を開始している。浸水害・洪水害の危険度を面的に確認できる情報も近々提供開始する予定。(京都地方気象台)



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104 (代表)

